

湖東中学校3ヶ年計画(H26～H28)
 学校教育目標 「夢の実現へ向け 見通しを持って、今を充実して生きる」生徒の育成
 学校運営の重点

教育理念

人は自分のためだけに
 生きるのではない
 世のため人のためになる

ふるさとを思い
 日本の心を
 大切にする人

平成27年1月16日

- 1 PDCAサイクルの学校運営
- 2 保護者、地域との具体的連携(18歳の巣立ちの共有)
- 3 教職員の指導力向上(個として、組織として)～生き方を考える学習活動の実践を通して～

実態	ミッション	目指す姿	3カ年の取組						評価指標		
			26年度	評価	27年度	評価	28年度	評価	評価項目	数値目標	
生徒 ・素直で人なつこい生徒が多い。 ・受け身の姿勢の生徒が多く、自ら考え行動できる生徒が少ない。 ・相手の気持ちを理解したり、自分の気持ちを伝えたりするのが苦手な生徒が多い。 ・全校集会や表彰等で返事の音が小さい ・宿題はするが自主的に予習・復習に取り組む生徒が少ない。 ・夢や目標を持っている生徒が全国、県に比べ少ない ・学力が低く、不適応生徒が多い	◎夢や希望を持ち、その実現に向け、日々を充実して生きる生徒 ・地域を思い、地域の行事等に積極的に参加する生徒 ・常に場に合った身なりができる生徒 ・地域や学校で適切に挨拶ができる生徒 ・常に黙々掃除が出来る生徒 ・自分なりの目標を持ち日々学習に努力する生徒 ・自分なりの3点固定が出来る生徒	生徒 ◎地域に貢献する活動1. 2. 3. 4. ... ・地区運動会への参加(1年) ・きらっと大作戦(各部活動) ・グリーンゾーン挨拶運動への参加 ・敬老会への参加 ◎生徒会を核とした自治的活動 ・「みそあじ」等自治による規律と責任ある学校生活 ◎私たちの道徳、生活ノートを活用した目標設定と振り返り ◎自分でできる家庭生活の3点固定	◎地域に貢献する活動1. 2. 3. 4. ...	B	◎地域に貢献する活動1. 2. 3. 4. ...	B	◎地域に貢献する活動1. 2. 3. 4. ...	B	*夢や目標を持っている	全国平均↑	
			◎プロフェッショナルな教師集団 ・各教科の授業において学習規律や基礎基本を定着させ、生徒主体の考える授業実践を行っている ・生徒指導に於いて集団指導はもとより個人指導においても、生徒・保護者に適切に対応できる ・校務分掌を学校運営の方針に従い、見通しを持ち企画立案、実践が出来る ・学校運営がPDCAのサイクルで順調に機能する	◎全体授業研究会年2回(道徳、教科) +ミニ校内研(道徳) ・指導案作成年2回(道徳、各教科) ・校内研修会(道徳、特別支援教育) ◎日々の事例を通した生徒、保護者への対応 ◎4ステージ2サイクルの学校運営 ・自己申告書と運動した活動計画作成 ・学校基本アンケートの作成 ・校務分掌の見直し ◎3カ年計画作成	A	A	B	B	B	B	*授業アンケートの各指標
学校・教職員 ・仕事に多忙感を感じたり、スケジュール管理が苦手な者が多い。 ・問題行動等への対応が、見通しがなく組織的に行われていない。 ・教科会が機能しておらず、授業づくりが個人任せになっている。	(自分で考え、自分で判断し、自分が行動する生徒十八才の巣立ちを目指して)	学校・教職員 ◎湖東中教育フォーラムの開催 ◎KMG ・組織改革(企画委員会、6委員会) ・3カ年計画作成 ・目指す児童生徒像の共有 ◎PTAグリーンゾーン、池之端等との具体的連携 ・HP 学校便り等による積極的情報発信 ◎高等学校、県教育センターとの連携 ・進路フォーラム、文化祭等交流	◎全体授業研究会年2回(道徳、教科) +ミニ校内研(道徳) ・指導案作成年2回(道徳、各教科) ・校内研修会(道徳、各教科) 教科の枠にとらわれない研修 ◎日々の事例を通した生徒、保護者への対応 ・HYP-QUの実施と活用年1～2回 ・特別新教育研修年1～2回 ◎4ステージ2サイクルの学校運営 3ヶ年計画、単年度計画に基づいた教育活動の実践 ・学校基本アンケート、授業アンケートの活用 ・各学年、専門部、教科会等のPDCA	A	A	B	B	B	*授業アンケートの各指標	10%↑	
			◎湖東中教育フォーラムの開催 ◎KMG ・組織改革(企画委員会、6委員会) ・3カ年計画作成 ・目指す児童生徒像の共有 ◎PTAグリーンゾーン、池之端等との具体的連携 ・HP 学校便り等による積極的情報発信 ◎高等学校、県教育センターとの連携 ・進路フォーラム、文化祭等交流	B	B	B	B	B	B	*授業アンケートの各指標	10%↑
保護者・地域・外部 ・PTA役員は、学校教育を理解し、非常に協力的である。役員以外のPTA会員の意識が低く、PTA研修会や参観日での学年会・学級会等の出席率が低い。 ・池ノ端応援団、湖東グリーンゾーン、同窓会等、学校に対する理解があり、協力的な地域資源があるが、十分活用できていない。 ・県教育センター、鳥取大学、3つの高等学校、2つの支援学校、4つの小学校があり、様々な連携をしているが、理念の共有がなく、体系化されていない。	◎学校運営と連動したPTA活動 ・学校運営の方針を理解し協力的なPTA活動 ◎「18歳の巣立ち」を目指した、具体的連携 ○小中高大学との縦の連携 ○保護者、地域横の連携	保護者・地域・外部 ◎湖東中教育フォーラムの開催 ・グリーンゾーンとの共同開催 ◎KMG ・生徒指導、特別支援の協働 ・キャリア教育の視点での合同研修 ◎グリーンゾーン20周年 ・組織改革、4委員会&各支部活動の再生 ◎高等学校、県教育センターとの連携 ・進路フォーラム、文化祭等交流	◎湖東中教育フォーラムの開催 ・グリーンゾーンとの共同開催 ◎KMG ・生徒指導、特別支援の協働 ・キャリア教育の視点での合同研修 ◎グリーンゾーン20周年 ・組織改革、4委員会&各支部活動の再生 ◎高等学校、県教育センターとの連携 ・進路フォーラム、文化祭等交流	B	B	B	B	B	*教育フォーラム、保護者研修会への参加が増える	↑	
			◎湖東中教育フォーラムの開催 ・グリーンゾーンとの共同開催 ◎KMG ・生徒指導、特別支援の協働 ・キャリア教育の視点での合同研修 ◎グリーンゾーン20周年 ・PTAグリーンゾーン、同窓会との具体的連携 ◎高等学校、県教育センターとの連携 ・進路フォーラム、文化祭等交流	B	B	B	B	B	B	*教育フォーラム、保護者研修会への参加が増える	↑
										*参観日等の保護者の参加人数が増加する	↑
										*円滑で密度の高い情報交換を行い適切な連携がとれる	↑
										*生徒指導、特別支援教育、キャリア教育の視点で授業や児童・生徒の交流が実践できる	↑
										*学校・保護者・地域が一体となった活動が軌道に乗る	↑
										*小中高が「18歳の巣立ち」をキーワードに、縦の連携が軌道に乗る	↑